


( トピック型 ) プログラム 活動(ユニット)案 「私のクラス・先生1・2」


プログラム名	トピック型日本語プログラム	
授業名	私のクラス・先生 1・2	
対象児童・生徒	( ) 小低 ( ○ ) 小中 ( ◎ ) 小高 ( ) 中学生 ◎: 主な対象 ○対象	
時間	( 40 ) 分 × ( 2 ) 回 + 休み時間 + (10分) 1回	
形態	( ○ ) 少人数グループ ( ◎ ) 個別	
日本語の力 (ことばの ものさし で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>覚えた表現を使ってやりとりができる。(聞く・話す)</li> <li>支援を受けながら1文字ずつの拾い読みができる。(読む)</li> <li>ひらがな・カタカナを概ね区別し、知っている単語を書くことができる。(書く)</li> </ul>	
	[聞く・話す] ステップ2 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1	
	[聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC	
目標 (Can-do)	在籍学級の教室にある物の名前を尋ねたり答えたり、担任の先生に自己紹介をして、名前や好きなものを尋ねたりして、コミュニケーションをとることができる。	
既習事項	ひらがな、私のこと(自己紹介1)、私の好きなもの(自己紹介2)	
語彙・表現	語彙	教室にある物(つくえ、いす、黒板、時計、窓、ゴミ箱、先生、友だち) (太字を目標とし、他は紹介程度)
	表現	・すみません、インタビュー、お願いします。 ・名前を教えてください。
コア日本語 (文型・文法/語彙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>名詞文「～は～です」 ・疑問詞「なん(ですか)」</li> <li>連体詞 どんな 「どんな～が好きですか」</li> <li>ここ これ(指示代名詞)</li> </ul>	
主な活動	学習活動	学習方略
	1回目 文型「これは～です」を使って教室にある物の名前を尋ねたり、答えたりする。 2回目 先生に自己紹介をしたり、名前や好きなものについて質問したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物やイラストから意味を推測したり、母語を活用して理解したりする。</li> <li>いろいろな活動や場面で、学んだ表現を繰り返し練習する。</li> <li>先生へのインタビューに挑戦する。</li> </ul>
実施上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>出身国と日本の学校とでは、教室の設備や備品が異なる場合もある。実物や視覚教材(写真・図)をふんだんに利用して、理解を促すようにする。</li> <li>事前に、学級担任インタビューについて協力を得られるようにし、インタビュー相手に回答を書き入れてもらう等の工夫をする。</li> <li>日本語がまだ十分できなくても安心してコミュニケーションがとれるという経験をすることを重視し、可能であれば、繰り返し在籍学級のクラスメイトと交流する機会を作り、学級担任やクラスメイトとの交流への意欲を高める。</li> </ul>	
アイデア	<児童生徒の多様性への対応>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>母語の読み書きの力がまだ十分発達していない低学年の児童の場合は、学んだ語彙・表現を書く活動では、ひらがなのみとする。</li> <li>好きなものについては、年齢に応じて、何に関して尋ねるか設定を変更する。</li> </ul>	
	<他のプログラム・教科との関連>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域の、自己紹介やインタビューの単元に関連付けて実施できる。例えば、小学5年生の「名前を使って、自己しょうかい」「きいて、きいて、きいてみよう」(光村図書)等の単元である。</li> <li>社会科見学などの活動で、校外学習としてインタビュー活動がある場合は、その事前活動として位置付けて実施する。</li> </ul>	

	・在籍学級での学習においても、この活動で利用した教材（語彙・イラスト）の掲示を依頼し、日常的に利用できるようにする。
--	--

**活動案 【私のクラス・先生 1】**

本時の目標		教室にある物の名称を知り、「これは～です。」の文型を使って、教室の物について尋ねたり、教室の物を紹介したりすることができる（話す）。	
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
10分	<b>導入</b> 1 教室のイラストを見て、教室の物や人の語を知る。	T：（教室のイラストを見せて） ここは教室です。教室。 S：教室 T：ベトナム語は？ S：lớp học （同様に、つくえ、いす、黒板、時計、窓、ゴミ箱、先生、友だちなど、指さしながら日本語で発話する。）	○視覚的にわかるイラスト  ◇語彙の意味を正しく理解しているか確認するために、母語を活用する。タブレット等で訳語を示せるように準備する。
25分	<b>展開</b> 2 教室の物・人の語をひらがなで書く。 ・カードに日本語で書く。 ・教室にある物に、そのカードを貼る。  3 教室の様子を紹介する動画を作る ・文型「これは～です」を利用して、教室内容を紹介する練習をする ・教室内を紹介しながら、物とカードを撮影する。	T：書きましょう。「こくばん」（ひらがなで書いて見せる） S：（カードにひらがなと母語で書く）「こくばん、bảng đen」  T：貼りましょう。こくばんはどれですか。 S：これ、こくばん（黒板にカードを貼りながら、声に出して読む。）  T：紹介しましょう。（文型「これは～です。」を板書）これはつくえです。 S：これはつくえです。（同様に、他の語彙も「これは～です。」の文型に入れて発話）  T：ビデオを作りましょう。 S：（教室の中を歩きながら、物とカードを指して）「これは～です。」	○語を書くカード（取り扱いやすい大きさ、名刺程度）と貼り付けるためのテープ  ◇教師が書いたカードを実物に貼る。授業後、イラストに児童が書いたカードを貼り教室に掲示し、その後の学習でも利用できるようにする。（可能なら、イラストを複写して在籍学級に持ち帰らせ、担任教員・クラスメイトに利用を促す。）  ○「これは～です。」短冊カード  ○動画撮影用タブレット等
5分	<b>まとめ</b> 4 撮影した動画を見て、今日学んだ語を確認する。	T：ビデオを見ましょう。（途中で止めて）これは何ですか？ S：つくえです！ T：そうです。がんばりました！	◇子どもが同意したら、学級担任の先生に動画を見てもらい、在籍学級での支援に役立ててもらおう。
評価対象と方法		活動2 机やいすなどの実物に、物の名前カードを正しく貼ることができたか。 活動3 教室の中の物を、「これは～です。」を利用して紹介できたか。	

## 活動案 【私のクラス・先生2】

本時の目標		「名前を教えてください」「どんな〇〇～が好きですか」などの表現を使って、相手のことについて質問し、交流することができる。(話す・聞く)	
時間	活動の展開	活動を行うための表現	〇教材 ◇教師の支援・留意点
10分	<b>導入</b> 1 在籍学級の担任の先生、クラスメイトの名前を、声を出して読む。	T：(在籍学級の写真付きの名簿を見せ) これは先生です。 S：先生 T：これは田中先生です。 S：田中先生 T：これは？ S：あおいさん T：これはあおいさんです。 S：これはあおいさんです。	〇在籍学級の写真付き名簿(ひらがなで名前を書いて準備)  ◇ひらがなの読みがまだ難しい場合は、教師の後に続けて言うようにする。
25分	<b>展開</b> 2 インタビューの練習をする。 ・座席表を使って、名前を聞く。 T(質問) → S(応答) S(質問) → T(応答) ・モデル文を使って、好きなものを聞く。 T(質問) → S(応答) S(質問) → T(応答)	T：すみません、私は〇〇です。インタビュー、お願いします。 S：はい。 T：名前を教えてください。 S：〇〇です。 T：ここに、書いてください。 S：(シートに名前を書く) T：(食べ物の絵を見せ) 〇〇さんは、どんな食べ物が好きですか。 S：これ、アイスが好きです。	〇名前が書き込める座席表ワークシート 〇おもちゃのマイク 〇インタビュー用モデル文カード ◇役割交代をして、生徒が質問する立場で練習をする。必要に応じて、途中、リピート練習なども行う。 〇食べ物、動物、スポーツなどの絵(ひらがな付き) 〇インタビューシート(母語訳付き) ◇好きなもの(食べ物、動物、スポーツ、アニメなど)は、児童の関心に近いものから、2～3つに絞る。
休み時間	3 クラスメイトや先生にインタビューをする。	T：校長先生/クラスのともだちに、インタビューしましょう。	△担任、保健室、図書室、校長室など、児童が面識のある先生に事前に依頼しておく。
10分	<b>まとめ</b> 4 インタビューしたことを報告する。	T：教えてください。 校長先生のお名前は何ですか。校長先生は何が好きですか。 S：〇〇先生です。りんごが好きです。サッカーが好きです。	◇次の時間に、インタビューを振り返る時間を設け、先生方の名前という場所を思い出し、安心して過ごせるようにする。
評価対象と方法		活動2 示された質問のモデルを利用しながら、名前や好きなものを質問することができたか。 活動3・4 実際にインタビューを行い、クラスメイトや先生方の名前を知り、コミュニケーションがとれるようになったか。	



◎教材のヒント:『子どものための日本語アクティビティ 支援の考え方と実践例』P77「先生紹介カード」先生の名前、クラスメイトの名前をインタビューした後、「先生はどんな〇〇がすきですか。」のインタビュータスクにつなげることで、前時の「好きなこと」の既習事項も含めた話す、聞く練習になる。また、日本語学習だけでなく、学級との繋がりをつくることにも役立つ。